

## 社会に開かれた教育課程

新しいつつじが丘小の学びの実現に向けて

校長 岩澤 尚彦

今年の夏は7月下旬より、最高気温が34度前後になる猛暑の日が続き、今年も暑い夏となりましたがいかがお過ごしでしたでしょうか。先週より学校は再開いたしましたが、まだまだ猛暑の日も予想されています。子どもたちの体調の管理には十分気を付けていきたいと思ひます。そして、夏休みの子どもたちの成長をしっかりと受け止めたいと思ひます。

さて、教育現場では、文部科学省から告示された「学習指導要領」に基づく新しい教育課程の編成と完全実施が、令和2年度に迫っており、私たちはさまざまなことを学び、考え話し合っているところです。その中で、いくつかのキーワードが示されています。その一つに「社会に開かれた教育課程」があります。これは、これまでの学校教育の実践や蓄積を活かし、未来を切り開く資質・能力を一層確実に育成するとともに、これらを社会と共有し、連携して教育活動を展開することのできる教育課程を創造していくという意味があります。

そこで、この理念に基づき、何ができるか、今までになかった新たな視点で考えるという作業に、教職員一丸となって取り組んでいるところです。特に、次の3つの点を重視して、次年度完全実施の教育課程を作成しています。

- 地域や社会とつながる学習活動を見出し、共に創り上げていく教育課程をめざす
- 新学習指導要領を踏まえてこれまでの教育活動を見直し、本校の子どもにとって充実した学びの実現をする
- 10年後、20年後の未来に生きるつつじが丘小の子どもにとって、必要な資質・能力を培う教育課程を編成する

新しい教育課程では、全体的な資質・能力を育成する中心の学習として、「総合的な学習の時間」を位置付けています。本校では、生活科、総合的な学習の時間は、重点研究教科として取り組んで3年目となります。こうした研究や研修の実績を生かして、教育課程の編成に取り組んでいます。

また、この夏季休業期間には、次年度より実施されるプログラミング教育の研修を専門講師により実施しました。さらに教育機関が主催する外部の研修にも進んで受講するなど、子どもたちが取り組みやすく理解しやすい学習にするために研修を重ねております。

新しい学習指導要領の実施、本校の教育課程の編成に伴い、来年度は「あゆみ」も変わります。また、学校行事や学年行事を改善せざるを得ないところもできます。この再編成に伴い、本年度より「ふれあいHAPPYフェス」は廃止させていただくことにいたしました。地域の皆様や関係団体の皆様と連携して進める教育活動は、「社会に開かれた教育課程」の中に位置付け、学校地域コーディネーターの皆様にご支援、ご協力をいただきながら、地域・社会参画型の教育活動を推進してまいります。

教育現場は変革の時期を迎えております。時代の要請と共に、良いものは残し、課題となるものは改善していき、次世代を担うつつじが丘小の子どもたちの育成をめざしてまいります。どうぞ、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

